

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷養護学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつばやき～ 「アセスメントってなんのため？」

支援が必要な子どもの教育には「アセスメントに基づいた支援を行いましょう」と言われているかと思います。

実際にはいかがでしょうか。

「何をどうやればいい?」「結果をどうしたらいいの?」

などの疑問を耳にすることがあります。

あるソーシャルワーカーは、アセスメントとは「対象者に対して**適切な関わりを行うため**に対象から得られた**情報の持つ意味**について考えること」であり、「このプロセスを飛ばして関わることを『根拠のない支援』と呼ぶ」と言っています。

つまり何かアセスメントツールを使用することがアセスメントではなく、行動観察も含めて、結果を**分析**し、**解釈**し、いくつかの選択肢の中から対象に合うと思われる支援を**選び**、その支援方法が適切であったかを**検証**する。

このプロセス（過程）を踏むことが、「アセスメント」であり、より子どもたちの行動や状態を理解し、より効果的な支援に近づけることができる。

これこそが、我々支援者の仕事ではないかと思うのです。

*次のページに本校での具体的な取り組みの流れを紹介します。（教育支援チーム）

「アセスメントのプロセス」

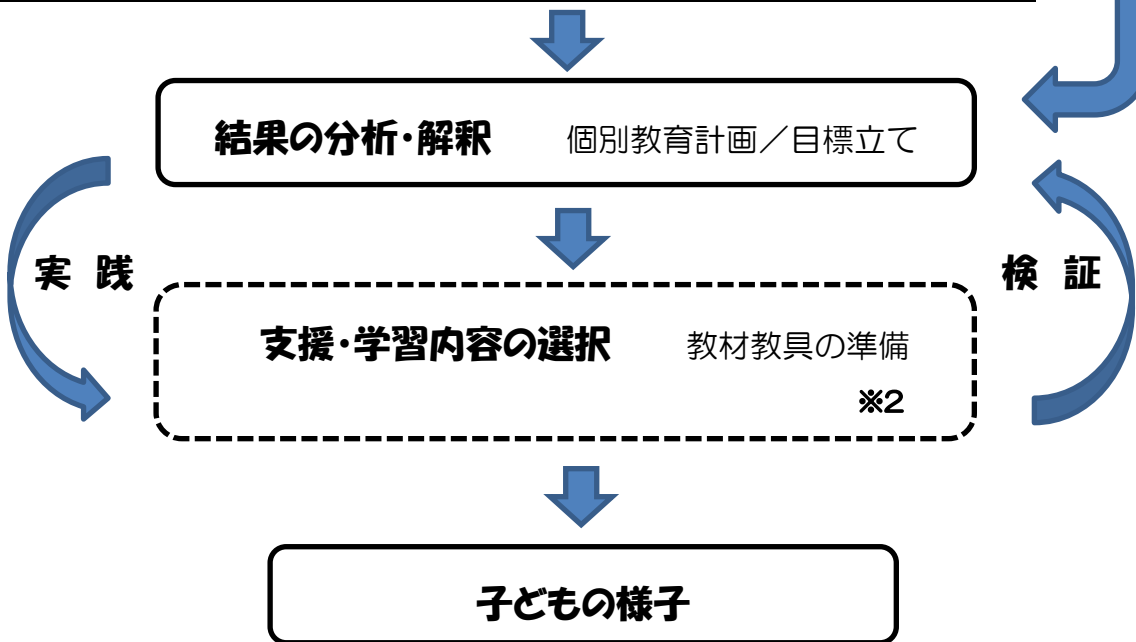
アセスメント

(瀬谷養護学校で行っているもの)

適応年齢となっ
ていますが、発達年
齢に読み替えて
OKです。

	概要	適応年齢
太田の Stage <参考> 自閉症治療の到達点 (太田昌孝・永井洋子 編著) 日本文化科学社	発達障害児の認知には越えがたい節目があり、一般の認知発達の段階が適用できないことがある。そこを考慮し、 「手段と目的の分化」「名前の発見」 「概念形成」の節目を参考に発達段階の基準を示したもの ※1	5歳0ヶ月 ～16歳11ヶ月
認知・言語発達プログラム (NC-プログラム)	認知・言語能力を支える6つの発達領域 「視覚操作」「言語」「記銘」「文字」 「数」「運動」に分けて評価	6か月 ～6歳
S-M 社会生活能力検査	子どもの日常生活の様子から社会適応能力の発達をとらえるもの 「身辺自立」「移動」「作業」「コミュニケーション」「集団参加」「自己統制」 SA、SQの算定	乳幼児 ～中学生

行動観察



※1 太田ステージのアセスメントである「LDT-R1」「LDT-R2」の貸し出しを行っています。

※2 教材教具展示室には太田ステージにそって展示がしてあります。見学はいつでも可能です。

お申し込みは 045 (302) 5374 連携支援室まで